

◆収支の状況

平成16年度の1年間に、町に入った金額（歳入）185億5,624万2千円から、使った金額（歳出）180億3,825万7千円を差引いた額は、5億1,798万5千円で16年度から17年度への繰越事業に必要な額を除くと4億5,350万2千円（実質収支）となりました。

○地方交付税は、1億9,748万8千円の減 （前年度比△3.1%）

市町村に生じる財政力の格差を調整するために国から交付される地方交付税は、普通交付税の単位費用などの見直しにより減少しました。

皆さんが納められた町税は歳入の11%を占め、いろいろな事業を実施するためのたいへん貴重な収入となっています。

町税をはじめ独自に確保できる自主財源は、全体の約35%となっていますが、依然厳しい状況となっています。

町税の内訳

固定資産税 1,105,597千円（53.5%）

町民税 704,006千円（34.0%）

たばこ税 162,295千円（7.8%）












軽自動車税 62,540千円（3.0%）

都市計画税 30,061千円（1.5%）

その他の税 3,936千円（0.2%）

○町民一人当たりに使われた金額 68万4千円

（平成17年3月末現在の推計人口：26,381人）

目的別の 使用状況	総務費  16万8千円	民生費  12万5千円	公債費  11万7千円	教育費  7万円	土木費  6万2千円
農林水産業費  5万5千円	衛生費  3万6千円	消防費  2万円	災害復旧費  1万4千円	商工費  6千円	議会費ほか  1万1千円

公債費は、町が国などから借りたお金の返済に要する経費です。

◆普通建設事業

実施した主な普通建設事業は、道路、農業基盤整備をはじめ次のとおりです。

- ・庁舎（東別館）建設事業
- ・住民情報サービスシステム整備事業
- ・公営住宅整備事業
- ・消防施設整備事業
- ・学校給食センター建設事業
- ・合併処理浄化槽設置整備事業
- ・県単急傾斜地崩壊対策事業
- ・小学校グラウンド整備事業







特別会計

町の予算には、一般会計のほかに6つの特別会計があります。

決算の状況は次のとおりです。

簡易水道事業については、平成17年度より公営企業会計に変更

（単位：千円）

国民健康保険事業	老人保健医療	介護保険事業	産摩診療所	簡易水道事業	農業集落排水事業
					
歳入総額 3,499,118	歳入総額 5,188,342	歳入総額 2,524,304	歳入総額 166,539	歳入総額 562,216	歳入総額 74,667
歳出総額 3,141,384	歳出総額 5,096,472	歳出総額 2,454,512	歳出総額 157,465	歳出総額 424,362	歳出総額 71,648
差引額 357,734	差引額 91,870	差引額 69,792	差引額 9,074	差引額 137,854	差引額 3,019